相談支援従事者研修内容検討WGの検討結果について【ケアマネ部会報告用】

資料2

１．検討経過

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| WG | 開催日 | 検討内容 |
| 第1回 | H30.7.25 | ○スケジュール確認○国の新研修カリキュラムと大阪府現行カリキュラムの比較○検討事項の確認・課題共有○受講者ニーズや実習受け入れ把握のためのアンケート実施 |
| 第2回 | H30.8.29 | ○演習マニュアル概要確認○初任者研修・現任研修についてチームに分かれて内容検討 |
| 第3回 | H30.10.10 | ○初任者研修・現任研修の進捗状況について確認○実習の方法について検討 |
| 第4回 | H30.11.5 | ○初任者研修・現任研修についてチームに分かれて内容検討　・演習マニュアル、必要な書式（様式）作成○初任者研修・現任研修の進捗状況について確認 |
| 第5回 | H30.12.3 |
| 第6回 | H31.1.21 |
| 第7回 | H31.2.20 | 〇人材育成ビジョンとの整合性確認〇演習マニュアル、その他資料完成 |
| 第8回 | H31.3.11 |

２．検討内容について

・演習マニュアルの改定作業（初任者・現任）、使用する書式の整理

・初任者研修⇒・これまで大阪府で行ってきた５picを使用し、事例を用いてインテークアセスメントを実施。

・現任研修（予定者コース）を参考に事例を用いてモニタリングを実施。

・実習については、実際の事例で取り組んでもらう。

・現任研修⇒・国のカリキュラムに沿って実施予定。

・インターバル報告書やセルフチェックシートについて府の独自様式を作成。

３．今後の予定

2019年度の1年かけて市町村、基幹C、講師・ファシリ予定者への周知を行い、必要に応

じて演習内容等の修正をかける。（WGとしてではなく、必要に応じて会議等を開催）

■周知方法（案）

市町村・基幹へ・・・市町村意見交換会、集団指導、9月の国研修後の伝達研修、市町村説明会、ヒアリング、HP等を活用。

講師・ファシリへ・・専門コース別研修（ファシリテーション）コースにおいて、大阪府で新たに実施する予定の相談支援従事者初任者研修・現任研修の内容伝達と模擬演習を、現在ファシリテーターを担う相談支援専門員を対象に実施。

※2019年度中に主任研修を実施予定。